

令和 6 年度学生の卒後評価に係る就職先聴き取り調査報告

1. 目 的 教育の質の向上を図るために、各学科の「学習成果」が卒後もそれぞれの就職先で活かされているかの可否や要望等について調査を行った。これらの結果は、外部評価として短大基準協会第三者評価「学生の卒後評価」に資するものとする。
2. 調査期間 令和 7 年 2 月下旬～3 月下旬
3. 調査方法 郵送によるアンケート調査・電話による聴き取り調査
4. 回 答 者 各会社・施設の責任者・人事担当者等

5. 調査先・評価結果

【音楽科】

1. 調査先 令和 5 年度卒業生の就職先 2 社(音楽関係 1 名、一般職 1 名)

2. 評価結果 ※コメントは一部抜粋

(質問 1) 本学科の学習成果に対して、貴社に就職した当初できていたかどうか。

- 1) 「自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている」

①できている:2 ②まあできている:0 ③できていない:0

- ・自己だけでなく、他者へも気を配ることができている。
- ・確かな知識・技術を身につけ、仕事に励んでいる。
- ・他者とのコミュニケーションも良好である。
- ・電話対応やメモの取り方等ができていなかったが、工夫しながらできるようになった。

- 2) 「音楽の意義を理解し専門的な知識・技術や態度を身につけている」(指導も含む)
「専門的な知識・技術や態度を身につける努力をしている」(一般職)

①できている:1 ②まあできている:1 ③できていない

- ・専門的な知識・技術を身につけ、それを十分に活かしている。
- ・新しいことに対しても知識や技術を身につけようと努力している。

- 3) 「自主の気風を高め、個性を生かした芸術表現を実践する基礎ができている」
「自主の気風を高め、個性を生かし、仕事に取り組む基礎ができている」(一般職)

①できている:2 ②まあできている:0 ③できていない:0

- ・いろいろな活動やイベントに対しても、臆することなく取り組んでいる。
- ・しっかり基礎・基本ができている。
- ・何か不都合があった場合等も、経験を活かして取り組んでいる。
- ・新しいことやわからないこと等、困ったことはすぐに上司に聞くことができ、自発的に行動できるようになり、積極性がみられるようになった。

(質問 2) 本学の教育に対するご意見・ご要望等、その他

- ・自己管理ができていて、安心して仕事を任せられている。
- ・学んでいくという姿勢を持ってくれているので、成長が楽しみである。
- ・一般的に、コミュニケーションをとるのが難しい人も多くいるので、コミュニケーション能力を高められるとよい。

- ・音楽は人を元気にする力があるので、継続して音楽人を育ててほしい。
3. 就職先への聴き取り調査を通しての課題と改善点
- ・各学習の成果に対して、概ね「できている」という評価を得られた。
 - ・音楽の専門を短大でしっかり学んだ後に、一般企業に就職する学生も増えている。どちらの進路に進むとしても、音楽の専門の知識だけでなく、社会人として自立・自律した生活ができるよう、協調性・コミュニケーション能力の向上、また一般常識も身につけられるよう、工夫して指導していきたい。
 - ・1年生のうちから進路相談や個人面談等しっかり行い、助言、指導をすることで教育の質の向上を図りたい。

【人間福祉学科】

1. 調査先 人間福祉学科第22期生の就職先(福祉施設・病院)16施設:社会福祉モデル4名、医療事務モデル5名、介護福祉7名)

2. 評価結果 ※コメントは一部抜粋

(質問1) 本学科の学習成果に対して、貴社に就職した当初できていたかどうか。

- 1) 「自己及び他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている」

①できている:12 ②まあできている:4 ③できていない:0

- ・業務に対して真面目であり、成長してきている。
- ・相手の立場にたって物事を理解できる姿勢がある。
- ・少し対応が難しい利用者があるユニットを担当しているが、懸命に取り組んでいる。人当たりの良さで安心感を与えている。
- ・施設での地域支援に協力的である。ユニットでも丁寧におやつの提供をしてくれるなど、ご自身の特技を活かして業務に従事している。
- ・コミュニケーションに能力に優れ、利用者に関わることができている。

- 2) 「福祉専門職として基本的な知識・方法・技術を身につけている」

①できている:9 ②まあできている:7 ③できていない:0

- ・意欲的であり、レセプトや電話対応等たくさんすることにチャレンジする様子がみられた。
- ・カンファレンスの資料作成や調整を実施できている。
- ・基本的なことがとてもよくできていた。
- ・利用者の観察する力が身についていたため、変化を見逃さず、報・連・相ができていた。
- ・困った時は先輩の職員に相談し取り組んでいた。教えてもらったことは自分の知識にしてステップアップできている。
- ・先輩の職員の中から学び、知識・技術が成長している。法人内の移動があり環境の変化もあったが、自分の信念をもって頑張っている。

- 3) 「人間尊重の精神と豊かな人間性を身につけている」

①できている:13 ②まあできている:3 ③できていない:0

- ・チームの一員として支援が行えている。
- ・利用者一人ひとりを大切に寄り添い、丁寧な支援ができている。
- ・法人の理念である「一人ひとり尊厳をもっている」を実践し働いている。同僚の職員とも研修等で高め合っている様子がみられる。
- ・入職当初は笑顔が少なかったが、現在は良好で改善されている。
- ・業務に対して真面目である。成長してきている。

(質問 2) 本学の教育に対するご意見・ご要望等、その他

- ・今後も福祉の仕事の魅力の発信をしてほしい。
- ・専門的な内容の学習など今後もお願いしたい。
- ・有望な人材の就職に感謝している。今後も介護の人材の輩出をお願いしたい。
- ・実習などに協力できるため、必要な時は連絡してほしい。
- ・当該卒業生も含め、今後活躍を期待できる方が多い。介護を目指している学生にはその様子をみていただきたいし、先生方の訪問をお待ちしている。
- ・実習生に向けたコミュニケーションの指導について教えてほしい。
- ・診療報酬、マイナンバー等の制度の変化に関心をもって情報収集を進めていただきたい。

3. 就職先への聴き取り調査を通しての課題と改善点

学習成果の達成については、「できている」「まあできている」という回答であった。それぞれのコメントからは、自立・自律する生活に関する知識・技術、専門職としての基本的な知識・方法・態度、人間尊重の精神に関して、本学で学んだことを基盤として、進路先でさらに自己研鑽を積み業務に従事している様子が読み取れる。各履修モデルの実習や就職ガイダンスなど、業務に関する理解が深めていく教育を継続することが必要であると考え。また、本学への要望として、専門職の魅力の発信や人材の輩出を望む意見があった。進路先である福祉施設や医療機関との連携を今後も大切にしてそれらを実践したい。

【食物栄養学科】

1. 調査先 食物栄養学科第 4 期生の就職先 6 施設(給食受託会社 8 名、保育園 2 名)

2. 調査結果 ※コメントは一部抜粋

(質問 1) 本学科の学習成果に対して、貴社に就職した当初できていたかどうか。

1) 「広い教養をもち自己および他者を理解でき、自立・自律した生活の知識・技術を身につけている」

①できている:6 ②まあできている:3 ③できていない:1

- ・仕事のスピードが速く、理解力が高い。
- ・元気で明るく他者とのコミュニケーションが良好である。自己および他者を理解し、自立した行動ができている。
- ・他者を尊重している。必要以上に踏み込むことや失礼な態度がない。
- ・知識・技術を身につけて仕事に励んでいる姿がみられた。
- ・入職から 1 年近くたち社会人として広い教養や自立・自律心、生活の知識技術が身についてきたように感じる。子どもたちのために知識や技術を向上させたいという意欲は大いにみられ、これからを期待している。

2) 「豊かな人間性と感性をもち、食に係る基本的な知識・技術・方法を身につけている」

①できている:6 ②まあできている:3 ③できていない:1

- ・人柄についてはおっとりとして優しい面を持ち、素直に先輩たちの意見やアドバイスを聞き入れ、より良い人間性と技術・方法の習得に日々努力する姿が見られ頼もしく思う。
- ・一緒に働いている方々と良好な関係が築けている。同期からの相談を受けるなど周りからの信頼もあるようだ。
- ・明るい性格や積極的な姿勢は豊かな人間性をもっている。個性あふれるイベントメニューなどを考案・提供し、食に関する基本的な知識や技術も、日常業務の対応からしっかりと身につけていることがうかがえる。
- ・業務に関しては評価が高い。一方で、本人の特性として、コミュニケーションが取りにくいタイプ。悪気がないのは周囲も理解して接している状況である。

3)「人間尊重の精神と、食に係る専門的な知識・技術・方法等を身につけている」

①できている:7 ②まあできている:2 ③できていない:1

- ・子どもたちの健全な成長のためにより良い食の提供を心がけ、栄養のバランス、味付けや盛り付けに気を配る様子が見える。また改善が必要なものについては創意工夫をもって努力している。
- ・入社1年が経ち、業務量も増え、土曜日出勤を1人でこなすなど、自分自身でも成長を実感できているようだ。一緒に働いている方やマネージャーから褒められることもある。
- ・真面目にきちんとこなせるタイプである。
- ・人間尊重の精神は、同僚や上司との良好な関係からも感じる。食に関する専門的な知識や技術は、経験を積み成長が期待される。

4)「倫理性をもった栄養士として、地域や社会の福祉に貢献できる能力を身につけている」

①できている:4 ②まあできている:5 ③できていない:1

- ・働く環境に満足しつつも、より高い知識と技術を得て、穏やかな態度で社会や福祉に貢献しようという意欲を感じる。これからも倫理性をもった栄養士として、食をとおして成長してくれることを期待している。
- ・倫理的な思考を持ち、社内での活動にも積極的に参加している。地域や社会の福祉に対する貢献も、今後の業務を通じてさらに広がることを期待している。
- ・仕事はしっかりできているが、それ以外のことで評価されるのが社会人である。もう少しTP0を意識できるようになるとよいと思う。

(質問2) 本学に対してのご意見・ご要望、その他

- ・2年間という短い期間の中でしっかり教育されていることを感じている。
- ・技術、人間性、感性、思考力など当社に入社いただいた方はしっかりしている。各現場でも一生懸命やっている、助かっているという声をいただく。ただ、対外的なところ（ビジネスマナー、TP0等）が少し弱いと思う。当社でも研修、各現場、マネージャーからの指導をしているが、教育の場でも触れてもよいかなと思う。
- ・福祉系に就職し、将来、管理栄養士を目指して、マネジメント業務に携わる、もしくは、行きたい方については、マネジメント能力、コミュニケーション能力、アセスメント能力が必要である。また、調理等の仕事を考えているようであれば、料理に関する知識、技術の向上の機会があるとよいと思う。
- ・学校を卒業し現場に入るとすぐに即戦力として活躍して頂くことになるので、できれば包丁の使い方などスムーズに使いこなせるよう、実践に慣れてきてほしい。

3. 就職先への聴き取り調査を通しての課題と改善点

- ・各学習の成果に対して、5施設では「できている」「まあできている」の評価を得たが、1施設での評価は「できていない」との評価であった。
- ・卒業生がそれぞれの職場において、一生懸命に業務を遂行している様子が随所にうかがえたが、一方では、社会人としての未熟さを指摘されるコメントも見受けられた。食物栄養学科では、今回の調査の対象と同じ施設で聴き取り調査を実施している。全体としては夏季訪問時に比べてポジティブなコメントが増えているように感じられ、調査施設内での卒業生の1年間の成長を感じることができた。
- ・一部の施設では、基礎知識、調理技術、包丁技術、コミュニケーション能力、社会人としてのマナーの不足に関する夏季と同様の指摘が今回もあった。学科教員が本事実を認識し、各学生の特性に合わせて、協調性・コミュニケーション能力の向上、基礎的知識、調理技術の十分な習得を図るよう工夫して授業を実施するとともに、個人面談や進路相談等において、1年生のうちからこれらの結果を踏まえた指導・助言をすることで教育の質の向上を図りたい。

以上